

記入日：令和 2年 5月 15日

1. 事業所名

ジョブサポート馬出

2. 主な対象者（知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害等）

知的、精神、発達

3. 週間スケジュール ※時間・内容を自由に記載ください

曜日 時間	内容				
	月	火	水	木	金
9:30 ～ 12:00	電話連絡 個別プログラム	電話連絡 個別プログラム	電話連絡 個別プログラム	電話連絡 個別プログラム	電話連絡 個別プログラム
昼食					
13:00 ～ 16:00	個別プログラム 電話連絡	個別プログラム 電話連絡	個別プログラム 電話連絡	個別プログラム 電話連絡	個別プログラム 電話連絡

4. 支援内容

1) 訓練の内容 ※訓練で使用している具体的な内容をご紹介します

ツール	内容（課題の内容・使い方）	時間	結果
日報	①生活面の記録（体調、体温、就寝・起床時間、外出予定の有無）、②課題の記録（取り組み内容）をご本人記入。 午前の電話連絡時に①を確認。午後の電話連絡時に②を確認。	5～20分	生活リズムの維持に効果があった。生活リズム記入に抵抗のある方にも、在宅を理由に導入がスムーズになったケースもあった。
電話・メール	上記内容確認と在宅訓練中の困り感等をヒアリング。 電話が苦手な方とはメールにてやり取り。	5～30分	緊張感維持に繋がった。言葉での意思表示に集中して取り組める機会になった。
テキスト	テキストを自己学習してもらい、不明点や学習内容の確認を行った。	—	新しい項目（テキスト）にチャレンジするきっかけになった。
新聞	社説や記事をピックアップして、レポートを作成（手書き、PC）。	30～60分	初めて取り組む方にとっては、時事問題や新聞を読むことに興味を持つきっかけになった。
パソコン	【タイピング練習】 ソフト（MikaType）や新聞記事を活用したタイピング練習。	45分	PCスキルの維持に役立った。

スマートフォン	『家計簿アプリ』による金銭管理を支援。 『新ネットレ(WEB)』による学力学習支援。	—	アプリやスマホの操作力向上にもつながった。 導入時の丁寧な支援が必要。
履歴書	履歴書や職務経歴書の作成。	30分	在宅で取り組むことで集中して取り組めた様子。
求人検索	ハローワーク HP や求職サイト等を閲覧し、求人検索に取り組む。	30分	就職活動に取り組めない不安を軽減することに役立った。 しっかり求人条件を考える機会となった。
その他	【運動】 ウォーキングやジョギング、室内での筋トレメニューを決め実践。動画を参照しながらのラジオ体操やストレッチ。 【家事】 掃除・洗濯・料理等	10～60分	【運動】心身共に効果があった。 ご家族と一緒に取り組むことでコミュニケーションの促進につながるケースもあった。 【家事】生活スキルのアップにつながった。

2) フォローアップの方法

①訓練課題

- ・テキストなどを持ち帰ってもらい自宅で実施できるようにした。不足分は、適宜郵送で対応した。
- ・可能な場合は、スマホやPCを活用して訓練を提供した。
- ・取り組み状況等について、毎日電話で確認した。
- ・希望者には通所による個別支援を行い、対面で訓練課題の質問や面談等に対応した。

②就職活動支援

- ・在宅での取り組み以外に、進行中だった就職案件の連絡調整等を行った。

③生活支援

- ・体温、体調、就寝時間、起床時間を確認し、在宅による生活リズムの乱れが発生しないように対応した。
- ・生活面のスキルアップを目標に、通所時よりも多く家事に取り組めるよう提案した。

④その他

特になし

5. その他

■参考資料（使用テキスト）

【ビジネスマナー】『新・見て分かるビジネスマナー集』、『ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション』
 【自己理解】『ひとりだちするための就労支援ノート』、『中学生・高校生・大学生のための自己理解ワーク』、『発達障害者の就労相談ハンドブック』
 【ライフキャリア】『ひとりだちするためのライフキャリア教育』
 【トラブル対策】『ひとりだちするためのトラブル対策』、『地域で安全に暮らしていくために』
 【学力・その他】『漢字読み取りドリル』、『百マス計算』、『コグトレ』

■今後の課題

- ・ZOOMやSkypeなどコミュニケーションツールやオンライン学習を日々の訓練課題に組み込む必要性を感じた。

※参考になる資料等で掲載可能なものがあれば、添付いただければと思います。よろしくお願いいたします。

記入者：小園 真起子